

【別紙】 令和6年度 学校 自己 評価 重点 目標 シート (川口市立東中学校)

(A4判用)

学校教育目標	○よく考える生徒 ○心豊かな生徒 ○心身ともに逞しい生徒 ○勤労奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	生徒・保護者・地域から頼られる学校

達成度	(ほぼ達成(8割以上) 概ね達成(6割以上) 変化の兆し(4割以上) 不十分(4割未満)
-----	---

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	4名
学校関係者(教職員を除く)	3名
事務局(教職員)	3名

領域	年度 目標				年度 評価 (令和7年2月7日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	評価	次年度への課題と改善策
組織運営	○学校生活において、どの学年も落ち着いた生活ができていく。授業・学校行事等をはじめとする教育活動を円滑に実施できている。学校関係者からも、満足いただける教育実践を展開	○生徒・保護者・地域から信頼され、頼りにされる教育活動を実践していく。	○教職員と生徒・保護者・地域が情報共有し、相談・連携できる信頼関係を構築し、早期対応で教育活動を行う。	○学校評価において、生徒・保護者から概ね達成といえる評価をいただいた。	B	・学校教育活動を円滑に実施することができた。引き続き、生徒・保護者・地域の方々との連携し、学校が頼られる存在となれるよう、信頼関係を構築していきたい。
	□日課等を変更し、教職員の働き方改革を推進しており、勤務時間外在校等時間の縮小をしている。	□教職員が笑顔で元気に生徒と接することができ、活気ある教育活動を実践していく。	□日課や週時程を変更するとともに、働き方改革を推進し、保護者・地域の協力を得ながら教職員の負担感を軽減していく。	□日課の変更により、保護者・地域の皆様の御理解を得ながら、教職員の働き方改革を進めることができた。	C	・教職員の働き方改革は、生徒と笑顔で教育活動を実施するためである。今後も働き方改革を推進し、充実した教育活動を実施していきたい。
教育課程	○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、タブレット等を活用しながら実践しているが、さらなる研究を進める必要がある。	○全教科共通して「聞く」ことを意識した授業を実践し、学力向上に向けた授業展開を実施していく。	○校内研修、研究授業、授業参観等を実施し、PDCAサイクルを検証し、授業を実践していく。	○「聞く」ことを研修テーマし、学校全体で指導・支援を行ってきた。学校評価も概ね達成できたといえる評価であった。	B	・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、タブレット端末等を活用し、本校に必要な研修テーマを用いた点がよかった。次年度に向け、今年度の成果を引き続き実践し、わかる授業を実践していきたい。
	□授業に参加できない生徒に対する学習支援が必要である。	□担任・学年職員等による教育相談体制を構築し、授業に参加できていない生徒への学習支援を実現していく。	□生徒・家庭に応じた連絡体制を確認するとともに、GIGA配信・学習プリント等による学習支援を行い、取組の見届けにより学習成果を確認していく。	□学習支援が必要である生徒に対し、できる限りの支援を実施した。しかし、関係生徒すべてから学習生徒の見届けまで行うことができなかった。	C	・学習支援を要する生徒への対応は、生徒・家庭との信頼関係の構築が必要である。今後も丁寧な教育相談を実施していきたい。
開かれた学校づくり	○学校からの情報発信を、ホームページや家庭用連絡アプリ(コドモン)、緊急保護者メールを活用している。	○学校からの通知や緊急性のある情報等について、迅速かつ正確な情報発信を行っていく。	○家庭用連絡アプリ等の保護者登録を100%にするるとともに、必要な情報発信を定期的・臨時的に行っていく。	○学校からの情報発信については、滞りなく行うことができた。	A	・学校からの情報発信を一本化することで、学校・保護者との情報共有がよかった。今後も、迅速な情報共有を行ってきたい。
	□新郷地区で子どもを育ていくため、小中連携を行っている。	□各校の良いところ共有し、新郷地区でまとまりのある指導を行い、子どもたちを育成していく。	□小学校・中学校による授業交流や生徒指導の連携を行い、きめ細やかな指導を行っていく。	□地区研究会や授業参観、模擬授業の実施、定期的な情報交換を行うことができた。	B	・新郷地区で児童・生徒を育成していくことを意識し、小中学校での連携を深めていきたい。
教職員の資質向上	○教員の年齢層もさまざまであるため、キャリアに応じた授業力が求められており、教職員間での学びあいを深める必要がある。	○中学校卒業後の進路実現のため、生徒が目標に向けた学びに行うことができる授業体制を確立する。	○各教科による指導法の検討を検討するとともに、教科を超えての授業参観の実施、研究授業等を実施していく。	○研究テーマを意識した授業展開により、授業参観の視点が絞られ、授業力向上につながる自己研鑽を実施できた。	B	・教職経験もさまざまであるが、それぞれの指導方法を参考に、より良い授業を展開することを今後も意識させていきたい。
	□教育公務員としての自覚を持ち、信頼される教職員であるための研修を行っている。	□生徒・保護者・地域から信頼される教職員集団を形成する。	□服務を忘れることがないように意識させるため、定期的な研修を実施し、指導と見届けを繰り返し実践していく。	□教育公務員としての自覚を持ち、信頼される教職員であることは意識できていた。	B	・教職公務員としての自覚をもたせるため、今後も定期的な研修等を実施していく。
施設・設備等の管理	□校舎の老朽化により、大規模な修繕が必要な箇所もある。学校だけでは対応できない部分もあり、教育委員会と連携し、修繕していく必要がある。	○校内において、施設によるケガ等の事故が発生することのない、安全な教育環境を整備していく。	○校内の巡視を毎日行うとともに、定期的な安全点検により、危険箇所や破損箇所を早期に補修していく。	○定期的な点検により、修繕箇所の把握し、優先順位を決めて修繕することができた。	A	・今後も施設・設備における事故0を実施するため、必要な点検・修繕を計画的に実施していく。
	□校舎の老朽化により、大規模な修繕が必要な箇所もある。学校だけでは対応できない部分もあり、教育委員会と連携し、修繕していく必要がある。	□学校生活のみならず、有事の際の避難場所としての機能が十分発揮できる施設にしている。	□関係機関による定期点検結果をもとに、教育活動の場や避難所として、安心・安全な場所となるよう教育委員会と連携し修繕していく。	□安全な避難場所となるよう、教育委員会との報告・相談は適宜行うことができた。	B	・学校予算だけでは対応できない部分については、引き続き教育委員会と連携していく。

学校関係者評価	
※実施日	令和7年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・地域も協力できることは協力していく。	